京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金三錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢 ▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六六三番　振替口座京城六四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番

東京たより　覽生

◎我國在留の清國學生は、本國政府の外交其宜しきを得ず、動もすれば他の侮蔑を蒙り、今回露國の威壓的交渉に對しても大なる讓歩をなして解決するに至りしを目して一大屈辱となし、終に現清國政府の無能を攻撃し、此上は祖國の維持を全ふする爲、民兵を訓練し、獨立獨歩の實力を養成せざるべからずとの信念に由り、留學生を打して一團となし救亡會なるものを組織し本國政府に建議すると共に歐米其他海外に在留する同胞に檄を飛し内外相呼應して目的を貫徹すべくそれ〳〵實行に取掛りしとの事に有之候。

◎清國の近時に鑑みて、在留學生の憤慨は實に已むを得ざるものにして、其意氣の壯烈なる亦同情すべき價値にしもあらず、然れども退いて倩々考ふれば留學生の此行爲は其本分を辨へざるものに候。而かも實際に於て何等得する所無之、要するに輕佻浮薄なる躁擧たるを免れず候。

◎此種の示威的運動は幾度か彼等留學生に由て試みられ、曾て日清懸案の困難に陥りたる際の如き彼等は飛檄通信以て其本國の人心を挑發し排貨を鼓吹する等、愚にも付かぬ運動をなしたるも終に何等本國の威信を擁護する事なく、徒らに我國の感情を害したるのみに有之候。

◎最弱積衰の極に達し國民は忠君愛國の念に缺乏し頑陋固執の夢より醒めざる今の清國をして眞個獨立の實を完ふせしむるは、政府と國民が大々的覺悟をなし誠意一身を國に獻げ、而して歳月を積み、本源より國家の改造をなすことが最も肝要に候、留學生なるものは茲に鑑み妄りに口角沫を飛ばし利權を回收せよと呼號することを止めて、其本分に歸り一意學業に勉勵し、學成り業卒りたる上は速に本國に歸りて忠實に其勤めを守り以て國家に稗益を與ふることを是れ自らを益し延て國家に忠なるものに有之候。

◎足腰自由の叶はざる稚兒が疾驅して競爭の列に入らんとする程危險なるものはなし、今の在留清國留學生の行爲は殆んど之と同一に候、吾人は清國在留學生が爲めに輕跳浮躁の行動を避け堅忍健實の精神を養ふことの、清國の發展を期する上に於て緊要事たるを勸告して已まざるものに有之候。

國境防疫狀況

▲新義州方面防疫　新義州支部長より去る四日左の報告其筋に達せり

昨日午後六時希臘人男貿商「エスヂーコスロバーロ」(三三)なるもの大連を發し奉天を經て入國したり檢疫所にては其の健康狀態は異狀なきを認め收容の必要なきものとし相當の消毒法を施し通過せしめたり而して同人は當地旅宿へ三泊し本日午前八時五分發列車にて仁川に向け出發せり仁川及京城南部署へ通牒し置けり

防疫方針の變更に就ては本月一日電命に基き爾來實施上の協議を凝らし稅關とも再次協商を累ね本日當地府廳に於て防疫會議を開きて決定したる事項は安東縣側關係各官廳へも通報せり

昨今頓に暖氣に向ひ鴨綠江流域解氷に近づかんとし就中下流龍岩浦、宣川、管内鐵山郡の如きは一部解氷せるを以て此際龍岩浦、宣川、博川の如き各關係警察署長を召集打合せの必要あるにより昨日召集狀を發せり

▲咸鏡道方面防疫　五日午後九時三十五分着慶興發にて太田憲兵大尉より其筋へ左の電報到達せり

慶興管内に於ては沿岸七ヶ所に監視所を設け各所の間隔約二里其の間隔内三ヶ所に監視員を分置し沿岸を取締りつゝあり目下危險の爲め氷上通過は漸次減少しつゝあり昨今の景況にては約一週日にして通過不能の虞あるに至らん今日迄に新阿山に於ける收容人員は四十二名慶興に於けるもの七十二名重に朝鮮人にして異狀ありしものなし爾收容共設備の點に至りては不備なれども目下の所にては差支なかるべし防疫に對する人民の感想は一般に良好なり貿上累數五三三又防疫實施の經濟界に及ばせる著しき影響を認めず只一部地方にては粟の價騰貴したり但原因は一昨年來の不作にも因るべし商澤春にては防疫實施後物資停滯し頗る不景氣の現狀なりと聞く

外事一束

▲防備　米國上院巴奈馬運河防備費三百萬弗支出可決大統領の滿足や可想。
▲露國　黑龍江鐵道は契約年限以前に竣功不可能なると政府者協會にて言明。
▲倫敦　市長及市吏員は來る九月公式に墺都維也納を訪問し交歡すべしと。
▲淸帝　は鼠疫根絶を速にせよ人民は醫官を信し妄に騷擾を釀す勿と上諭。
▲支那　四川總督趙爾巽は近々北京入京すべく北京政界の變動を豫期さる。
▲英國　海軍提督は滿州東西兩沿岸防禦に關し計畫立案總經費三百万磅也。
▲退學　莫斯科大學生三百七十名及タ、ソウ大學生九十二名共に退學被命。
▲艦隊　露國內閣は波羅的艦隊編入戰艦費一億二千九百留支出の計畫なり。
▲會議　日淸聯合防疫會議にて奉天營口間支那人乘車大豆輸送の件を議す。
▲全治　大連病院收容中鼠疫患者二名全癒退院是鼠疫患者全治の嚆矢。
▲在滿　鮮人取扱章程淸政府にて脫稿し近々日本と交渉を開始する筈也と。

文苑

◎雁　ふさ子

いとも美しいく重にも
霞める空の戸を明けて
北へと急ぐかりかねを
軒に巣づける村雀
少さき鋭きさへずりに
雁呼びとめていへるよう
花を見捨てゝ君が行く
彼方は悲しき灰色の
雲の峰こと發ねたり
雪にはかをりなきものを
今しばらくは止まりて
春の美には遊ばずや
風も冬さはことなりて
花の匂ひを送るなり
氷をふすまの我等とし
自然の神の命なくば
花の春をはよそにせじ
朧に匂ふ月影の
新に友よびはね連ね
春の御空に遊ばんと
思へど春の女神いで
冬なる神の北へまつ
汝らはいそげ花盛り
そばなる雨に鶯の
唄もあるなり糸柳
風にもつるゝそれをとく
つばめもゐれば空高く
雲の上にて歌ふなる
雲雀もありて汝こそは
春に縁の薄きとり
とく〳〵行けど花の袖
打ちひろげつゝ追ひ給ふ
聞きて笑へり少雀は
我かは幸よ花に醉ひ
雪に遊ぶも思ふまゝ
自然の神の寵深く
聲も目出度チヨチヨと
ことほぐ歌の一ふしを
君ならはずやうたへかし
雁は答へぬ秋の空
月てる夜半は我が世なり
君一聲のうたもなし
春の自然の美にあれば
秋冬どもに美は自然
氷れることも美の一つ
縁の深き寒風に
翅そろへて遊ばんと
北をさして飛び去りぬ

◎雪の歌　磯々庵

春が來たのに何故泣かしやんす、雪の山家の娘子よ。
あはれ其れが忘れらりよか、五年前の春の夕、南の空を戀ふ君は、雪の國をば妾をば、すてゝ出だきり行つたきり月日は春を操り返し、積つた雪は消ね去るが、妾の思は消ゑません、せめて思が悲みが湧き出る涙で解け去れど雪解の夕に泣きまする。
屋根に積つた淡雪は、はろり〳〵と謎をもれる、涙の樣に解け落ちる。

●漢陽吟社第十五回席上餘興　花儒園撰

○旅人の霞に迷ふ山路哉　都天女
草餅を心ばかりの土産かな　朝松
霞から產るゝやうな家二軒　悟竹
霞む日や足元近き水の音　同八
麥二寸幾してかすむ山家哉　朝松
一聲の窺笛霞を破る季　半韓
庭迄も霞て來たり山の家　都矢女
杪のみのこして深き霞かな　思遠
草餅に里なつかしくたもひ㒵(人)　都天女
草餅や風呂敷ともに野の匂ひ(地)　同人
包まれて松も聲なき霞かな(天)　半韓
○追加
何摘か拾ふか野邊に霞む人　撰者

召使れ初　(二〇の六)　黑法師

「何といふ」と助八は目をぎろつかせ「小祿の内にも孝道はあるといふか」
「御意にござります、私は立身出世を望みませぬ、榮耀榮華を望みませぬ、人と生れて人の道踏むを望みまする、下世話にも正直の頭に神宿ると申すとあるでござりませぬか、正直一方誠を持て心を致さば立身は自然に參る、人を斬らうとする刄は斬れいで、身を守らうとする刄に敵を斬るとあるも同じ理、私主意これでござります」と助藏は臆したるさまもなく云ひ切り、ちやに依つて私、此儘れ父さまれ膝許にあつて孝養の限りを盡したいと心得ます」
「や、已れ口賢しう申したな、手を延ばさいで棚の物は取れぬ、待つ時節が何時來ると思ふか、人間の壽命五十年隨分氣を短かくせか〳〵して骨折りても一代の仕事を、一代の間に爲し遂げることは難い、況して太平の世に一石の御加增を望むは、戰國の世に城一つ落すよりも難しいぞ、兄に生れて妹の氣性に負けて濟むか、そなたにれ樂の氣性あつたら、同じ内職する手にも樂みあるを、儘にならぬ浮世、考へると腹も立つ」
「れ父さま、その樣に仰せ遊ばすものではござりませぬ」とれ袈は澄しい目に睨まへ持つて「兄上思し召し、一理ないことはござりませぬ、何十石の主人になつても魂が腐れては、眞の武士と云はれませぬ假令五人扶持の小祿でも、忠義の道を忘れさへ致さねば何處へ出ても耻かしいことござりませぬ、私女の身で立身を望むか間違ひやら、兄上小祿に安んじて、忠孝二道を全ふせんと御叢遊ばすが誠やら、過ぎて見ねば分りませぬ金も金、鐵も金、兎角は細工に待つ外あるまいと心得ます」
「れゝ、そなたまで同じ樣に、俺はな此松田助八はな伜に立身出世させて左團扇の樂み受けやうといふではない今もいふ御先祖は大內家十八衆の松田豊前守樣、人に知られた武家、行く〳〵はその名も世に出せど……」
云ふ詞の終らぬ間、脊戸口の戸はさらりと開いて、片手に次男助二郎の手を引き、片手に頂戴物の風呂敷包を提げて歸り來りしは、妻のれ幸なり
「れゝ母樣」とれ袈は立ちて「只今れ歸りござりましたか、助二郎も伜、嘸れ疲勞れござりませうな」
「何の疲勞れることはない、結構なれ座敷拜見、數々御馳走のれ下り頂戴、私も助二郎も好い正月をしたわのう」と上り口に腰かけつゝ「これはれ國許到來の饗丹、助八に遣はせとて、奧さまれ手づから下されたのでござります」と風呂敷解いて「伊萬里燒の小鉢に饗丹の色赤々、花の如きを差し出し「れ父さまれ目にかけや」「奧さまかよ」と助八は手に取り「性來の好物、奧樣れ心にかけさせて難有いこと哉」
「今日は宍戸樣御加增の御內祝、役者衆も參られてな、御能も數々、御見事なことでござりました、御家老樣、御用人樣、番頭、物頭のれ歷々衆二十八程もれ並び、御酒は宮戸川、御料理は八百膳、例の金剛太夫參つて猩々、蘆刈、面白いことの數々、同じ御屋敷に御奉公する身でありながら、斯うも身分が違ふものかとつく〳〵世の中を考へたでござります」といひかけて眼を屢叩く。

東京電報(七日)

▲**東宮殿下行啓** 東宮殿下には來る廿七日御出發呉、佐世保に行啓あらせらる

▲**水道買收可決** 今日衆議院豫算總會にて京城水道買收案を可決したり

▲**師團長拜謁** 天皇陛下には來る十一日午前十時三十分目下師團長會議に列席中の閑院第一師團長宮を始め上田近衞師團長以下各師團長を御座所に召させられ各管下の事狀につき奏上を聞召させられ正午皇族御二方を召させられ午餐會の御催あり同時に德大寺侍從長以下宮內高等官に御陪食仰付けらるゝ筈なり

▲**師團長會議** 各師團長會議は六日午前九時より參謀本部樓上に於て開會軍務局長の一場の訓示演說あり來る十五日終了の筈なり

▲**森槐南博士逝去** 森槐南博士は豫て病氣中の處今朝六時遂に逝去せり

▲**事後承諾案討議** 國民黨は事後承諾案全部否決に決して七日本會議に臨み大石、花井兩氏の反對あり鵜澤、鳩山、柴三氏の贊成演說ありて總て政友會の決議通り何れも勅令に關する緊急勅令を否認して別に法律案として財政に關する勅令を承認したり

▲**總督府豫算可決** 貴族院豫算總會は朝鮮總督府豫算を衆議院の回附通り可決したり本會議に於ても大多數にて可決すべし

▲**明石少將拜謁** 明石憲兵司令官は來る十一日午前十時半各師團長と共に天皇陛下に拜謁仰付けられ正午御陪食を賜はる筈なり

▲**木下氏除名さる** 國民黨代議士木下謙次郞氏は除名されたり同時に木下氏は脫會を宣言し國民黨は紛亂を極む

▲**東拓の不評判** 東洋拓殖會社の成績見るべきなしとて各方面の攻擊盛なるが近く政友會及國民黨より議會に質問書を提出する筈なり

▲**日韓瓦斯總會** 日韓瓦斯會社にては來る十三日東京に於て定時株主總會を開き年七朱の配當案を附議する筈なり

▲**千葉縣の大火** 千葉縣下に大火あり一漁村全滅す

▲**鞍馬艦上の自殺** 鞍馬艦內の不正事件に關し一兵曹收賄の嫌疑を受け艦內に於て自殺を企てたり

▲**松石少將危篤** 去月滿洲より歸朝し目下赤十字病院に入院治療中なる參謀本部第一部長松石少將は僅に鼻口より管を以て滋養液を胃腑に注入し居れるが熱は三十六度以外脈膊九十乃至百を算し呼吸切迫し最早や回復の望なし

彙報

●**議會と朝鮮問題** 七日兒玉秘書官より山縣總監への電報左の如し

貴族院豫算總會に於ては四十四年度總督府關係豫算總會に衆議院議決通り可決せり衆議院豫算總會に於て水利賠償費原案通り可決直に日程を變更し本會議に上せ委員長報告通り可決せり又緊急勅令及緊急處分事後承諾案は贊成反對交々討論の末委員會決定通り即ち勅令第三百廿四號を除き其他は總て可決せり又四十二年度豫備金支出の事後承諾委員會に於ては總督府關係事項は總て承諾を與へられたり

新政と舊民(三)

於亞細亞協會 小松綠氏述

▲日鮮相互の補援 古代の日鮮兩國民が人種及政治上に於て親密なる關係を有したるは既に前段に陳述したるか如し而して文學技藝に於て相補援したる所亦尠しとせず相補援したりと云はんより寧ろ日本の方が往古に於て朝鮮の文化に依り裨益を受けたること一層多大なりしなり織女陶工も朝鮮より來り漢字を習ふの便なき時代に千字文を獻ずるものあり斯くも一時朝鮮の恩澤を蒙れる日本が更に翻つて窮乏の朝鮮を扶掖するに至れるは緣因淺からずと謂はさるへからず蓋し日本は本據を島國に置き內訌外患の虞なくして嘗に朝鮮支那の長所を吸收するを得たりしのみならず早く既に和蘭、葡萄牙其の他の外國とも交通を開き外來文物の精粹を咀嚼しつゝ擧國一致して文明の進步を企圖したるかため國運駸々として隆盛に赴きたるに反し朝鮮は其の四圍の境遇上常に外襲の憂患に畏縮せるの狀あるに加へ近世に至りては政治の腐敗と人民の墮落と相俟て衰頹を促かし或は東人西人と反抗し又は老論少論と對峙し徒らに黨同伐異を事として邦家の休戚を顧みるに遑あらず衆民も亦苛斂誅求を免れんとして種々の弊習を生したるのみならず勞役を厭忌し貯蓄を避して遂に遊惰放逸第二の性を爲し近時に至りても其の餘殃を貽し工藝は衰微し商業は其の眞意味に於て有れとも無きに均しく日常の生活に必要なれは流石に農業は存すれとも之を方今の文明國に比すれは素より幼稚に屬するは勿論なり又數百年來森林を濫伐して保殖の途を講せさり結果次第に其の缺乏を感し終には矮舍小屋を作るにも困難を感し燃料には枯草までを用ゆるに至れり森林の缺欠は一面に於て霖雨の氾濫となると共に他方に於ては旱天に際し灌漑の便を得すして農耕に靜からさる妨害を來せり斯くの如くにして近時の朝鮮は益々貧弱に傾かさるを得さるの境遇に陷れるは時運世態の然らしむる所とは言ひ乍ら誠に氣の毒なる次第なりき

日本帝國は斯る悲境に淪みたる民衆と土地とに對し五年以來施政の改善と富源の開發とを圖るへき重任を負ひたるなり是れ實は幾部の改良と言はんより寧ろ全般の復活を求むるものにして其の事業の既に困難なりしは勿論今後に於ても亦容易ならさるへきは推知するに難からさるなり

●**司法官會議**(開期) 既報の如く總督府司法官會議は愈々來る十日より司法部樓上に於て開會することゝなりたるが列席者は倉富司法部長官以下各控訴院地方裁判所判事十二名檢事長檢事正十二名にして他の臨席者を合せて約三十餘名出席する筈にて昨今地方各判檢事上京夫々提出問題等に就き打合せ中なるが同會期は既報の如く一週間の豫定なりと

●**各典獄會議** 別項司法官會議と同時に司法部樓上に各監獄署長を召集し典獄會議を開くべく過般來其筋に於て協議事項として監獄改善策其の他諸般事務の打合せを爲す筈なるが會期は司法官の夫れと等しく約一週間の豫定なりと云ふ

中大路部長談

●**道路**…縱橫無盡到る處手を着くる積りだ尤も金との相談であるから果して希望通り實行出來るか如何か心配だ計劃の方針は尙だ確定しない何れ國庫の補助を仰がなければ出來ぬ問題だから國庫支辨の道路と地方費所屬の道路とは總督府と打合せの上ならでは決定しない併し國道は自から定まつたものがあつて元山街道の如きは則ち夫れだ京城市內道路の延長土木係に聞けば既に調査してあるかも知れない今日の道路でも之れが

維持修繕に年々三萬圓は掛かるよ無論

●**府郡守會議** 民間所管以外でサ革政後始めての會議だから多少效果がある積りだ會議事項は主として注意のみで諮問は餘り必要ないと思ふ注意事章は澤山あるが先づ府郡配與の恩賜公債使途に關する件徵稅不成績に對する注意林業の獎勵等が頗要のものである府尹は總て內地人で郡守は朝鮮人だから一緒に會議を催すのも如何と思ふものもあるが夫んな事はない

●**萬國防疫會議** 既報の如く奉天に於て開かるべき萬國防疫會議は來月三日より開會し約四十日間の豫定なるが同會に出席すべき委員は日英米佛獨露淸伊墺の九ヶ國なるが之れが司會者としては淸國施肇基氏の由にて近く奉天に向ふ筈なりと

●**國境防疫新設備** 滿州各地に於けるペスト狀況は昨今稍緩慢の姿となりたるも山東省は今尙ほ新患續出の有樣なるが鑑に山根囑托は鴨綠江沿岸今後の取締り方針に付打合せの爲め安東縣に出張淸國官憲と交涉の結果新に大東溝龍岩浦の二ヶ所に共同防疫部を設置し沿岸小形帆船戎克等を取締ることゝなりたり而して同職員には度支部警務總監部より之れを選出したる醫師又は其の他の職員をして此の任に當らしむべく尙ほ度支部より警備船及母艦一隻を出して防疫を實行する事に協定したり

新年度と林政

▲**半島山林の狀態** 山林課長齋藤音作氏談 朝鮮に於ける森林山野の現有面積は約千五百七十六万八千九十二町歩にして內林叢を成せるものは約五百十七萬五千五百四十八町歩稚樹發生地は六百三萬四千九百四町歩無立木地は四百五十五萬七千六百四十町歩なりとす則ち林叢地は三割二歩八厘に當り又現に稚樹を有し近き將來に林叢を成すべき見込みあるものは三割八歩二厘を占め更に純然たる禿山は二割八分九厘といへる割合なり

▲**新年度豫算** 追々春暖を迎ゆると共に林務行政の多忙期に入れるが今茲に新年度要求の豫算を示さんか直接間接の經費則ち造林費土地買入費補助費等を合すれば約十八万五千圓にして之を前年度に比較し幾分の增額を爲せり而して他の事業に顧みれば尙に言ふに足らざる程なるも元來森林經營は勞力と時日の經過とに依るもの多く隨て所要經費は割合に少額なりとす

▲**森林法の內容** 這は既に當部の決定を了し上級裁定機關へ廻送し置けるが其後如何に成り行けるか予の知る處に非ず而して其內容に就ては能く之を知るも懸案中の問題たるを以て濫りに公表する能はず現に角從來の制度に比すれば大に進步しあるのみならず林政に對する總督府の大方針は之に依りて定まり而して施行後の效果大に見るべきものあるや疑なし

●**鴨綠江岸農業** 鴨綠江沿岸に於ける農業は一般に農事改良に注意するもの少なく殊に灌漑排水に於ては自然の河水を利用するのみなれば沼作改良發達の餘地頗る多きが如し農家一戶の平均耕作反別は大農十五日耕(一日耕は約三反)中農七八耕、小農四五日耕にして中農以上の者は概ね牛馬を使役し大農にありては傭人を使用しつゝあり傭人は日雇あり年期雇あり日雇は食料自辨にて日給四十錢位を普通とし年期雇は傭主に於て食を給し衣を與へて普通二十圓內外なり若し一家に於て耕作上の差支を來たせる場合には隣保又たは親戚は家族を擧げて助成するの美風あり肥料は主に牛馬豚の廐肥及人糞尿を施し稀に綠草を之に充つるものあり畑には多く粟玉蜀黍大豆等を輪栽するも種子撰擇等の如きは殆んど注意することなく農民の生活は槪して頗る簡單なり粟及び玉蜀黍を常食とし燃料は各自山野に之れを採り燈火用として石油を使用するもの絕無にして木荏油眞荏油を用ひつゝあり畜牛の飼料には粟稈玉蜀黍稈を用ひ一般に貯蓄心薄く餘裕あらが飲酒を貪るを常とす春季融雪の時季には山に薪を採り田畑の耕作爲すも冬期は概ね蟄居的生活を爲す小作は一箇年を標準とするも同耕は秋季に至り其の收穫を地主と小作人と折半するを普通とすと

▲**人さま〴〵**▼(一) 齋藤音作君

農商工部山林課長齋藤音作君は札幌出の林學士で一年志願の陸軍步兵中尉である、君臺辨當のパンを啣ぢり〳〵追々林業期節になつて忙しくなりましたと物語る其態度實に鷹揚で恬々迫らず飽迄謹嚴を失はぬ、此君の道樂は何かと言へば擊劍だ、或る時同部俱樂部の發起式に山番を相手に小手と面れ先に鮮血淋漓一時以上もある大傷をして居つた、君は耶蘇信者で有名の禁酒禁煙家である、其人格は此修養と彼の擊劍の鍛錬によるのだ、

恩賜公債に關する注意

(一)明治四十三年勅令第三百二十七號に依り下賜せられたる恩賜公債證書は本年一月十三日總督府に於て交付せし朝鮮貴族及同譜族を初めとし其他各道へ送付し授與を終りしが恩賜を受くべき者の中には其住所不明なるもの又は之を變更して屆出を爲さゞる者ありしを以て未だ全部の交付を終るに至らざるゝ漸次屆出を爲したる者に對しては夫々調査の上交付すべき筈なり居住所變更の屆出を怠り居る者は速に屆出を爲すにあらざれば公債證書の拜受も從て遲延する譯なり辭令書を拜受せる者は之に對し請書を差出すときは直ちに公債證書を交付せらるべきが故可成速に其手續を爲すべし

(二)恩賜公債證書は勅令第三百二十九號に依り政府の認可を受くるにあらざれば之を讓渡又は質入することを得ざるを以て自由に之が賣買讓渡を爲す能はず若し右認可を得ずして陰に賣買讓渡したるときは其效力なかるべし

(三)恩賜公債の讓渡を希望する者は證券額面、枚數、番號を記入し登錄除却の上韓國銀行へ讓渡の認可相成度旨の請願書に爵官職、名住所並に記名捺印して讓渡の事由を詳具し朝鮮總督府に於て公債證書の授與を受けたる者は直接朝鮮總督に其他は道長官を經て總督に稟請すべし

(四)右請願書に就き認可の適否を查定し相當と認むへきものに對しては認可狀を交付すへきに付之に該證券を添へ韓國銀行に差出さは同銀行に於て其券面額を以て之か買收の手續を爲すへし

(五)本公債の利子は每年三月及九月に於て其月以前六ヶ月間に屬するものを其月の初日より仕拂ふ

(六)每期利子仕拂は郵便爲替の方法に依り送付を受くることを得但し京城在住の所有者は日本銀行京城代理店(韓國銀行本店)に於て利札と引替に其仕拂を受くること便利なるへし(未完)

●**商議地區擴張**(既決定) 既報京城日本人商業會議所地區內に龍山を包含する件に就て七日龍山側より委員として上野、田淵、依田の三氏京城側委員秋吉、進、近藤、池田長兵衞の四氏と●會議所に●見禪々協議の末圓滿に解決を告げたるを以て來る十一日午後一時より臨時總會を開き地區擴張に伴ふ定款の改正を附議する筈なりと

●**瓦斯電燈値下交涉** 瓦斯電燈値下の件に就て豫て商業會議所より會社に書面にて交涉せしことは既報の通りなるが八日午前右件に關し池辰馬、池田長兵衞兩氏は會議所の山口氏と共に日韓瓦斯電燈會社に赴き社員に會見交涉を重ねたり

●**日鮮間電信遲達** 對馬海峽の海底電信線に故障を生じたる由にて日本內地ゝ當地間に發着する電報は當分幾分の遲延を免れずと云ふ

●**商木書記官の出張** 農商工部書記官商木戒三氏は北韓地方視察の爲め八日午前九時發出張したるが視察日數は約一ヶ月の豫定なりと

●**民會の開會** 京城民團民會は九日午後三時より開會委員附托の殘部案に就て討議の筈也

●**七日民會雜觀** 八釜しい稅率改正案の第二讀會劈頭第一皆川君の發言曰く戶別稅は所得稅類似の課稅だ故に稅法學の原則に基き累進率を用ゐ五圓以下は全然削除し更に一等を七千圓とすべし斯くて韓銀の決算報告を聞上げ總收入年額百二十萬圓もある大會社には官數二萬圓以上を課す可しだ併し突飛の增額は如何かと思ふから幾何さ此一等の七千圓を課すべしと主張し破天荒の修正案を提出した▲之れに對する喧々囂々の聲は恰かも銅鑼鐃を叩き破るかの如く大百君抔は若し五圓以下を削除したらパンより權利と言へる撰擧權を喪失するが能いかと敎團く▲入つたもんだの揭句修正通り可決確定次いで地稅に移り一等地から順次逐條審議する事となり先づ一等地を決議し二等地に這入つた處が和田君から南大門通一丁目を一等に編入すべく修正案を提出した▲贊成〳〵の聲に促がされ議長が和田君の動議成立を宣告した然るに皆川君此宣告に異議ありとて議長は既に一等の決議を宣告せるに何ぞ之を議せんとするかと怒鳴る▲ソコで高橋君岩田君の法理論曾我君大百君の便宜論君の皆川君贊成論等出で散々火花を飛ばし到底際限なきより五分間の休憩▲休憩中話合つて便宜論が勝を占め皆川君の異議は不當と認められた▲夫れからは一瀉千里の勢で進行し晩餐後徵稅規則改正案となつた▲處が委員會の報告書に委員の定員が一名缺けて居るとて中島君無效を叫ぶ是亦だ議論の諍論に波瀾を捲き起し色々の議論が出る▲處が先例ありとて古い議事錄を取寄せたら果して有つた有つたも有つた其先例の委員會には中島君も居つたので一同吹き出した▲稅則中の納稅期は中島君の主張で三期を四期に改正が出來た▲是にも大に議論の花が咲いて大百君の如きは議員中私が一番貧乏だ故に私の言ふ處は正眞正銘であると一度に澤山納むるより少額づゝ分けて納むる方が貧乏人の爲めに如何に苦痛を減ずるか知れないと說く採決の結果四期說が成り立つた▲最後に本町入口取擴案を否決して散會時に午後十時

●**軍艦鈴谷の入港** 軍艦鈴谷(艦長關大佐)は九日午前仁川に入港の筈なるが同艦乘組の士官以下水兵百餘名は十日、十一日の兩日入京す因に同艦は東洋大一の快速艦なりと

●**商議役員通信局訪問** 電話料納入遲延し通話停止となる者多く之に就て可及的寬大ならんことを陳情の爲商議會議所役員小川勝平秋吉富太郎二氏は會議所の山口氏を同行通信局に岡本氏を訪問せり

●**有賀課長の出張** 別項の如く今般の沿岸防疫は淸國官憲と共同事に當るべく協定したるが右防疫設備等に付打合せの爲め有賀度支部關稅課長は九日午前當地出發龍岩浦へ出張すべしと

●**時重博士の入京** 獸醫博士時重初熊氏は昨夜入京天眞樓へ投宿したるが明後十日歸東の筈なり

▲**治外法權**▼ 過日經濟協會で波多野が言つた如く、新聞紙讀者の多寡を以て民人文明の程度を卜し得べしとすれば在半島の內地人は世界稀に見る文明人であるのだ、併し之に反して半島土着の新聞胞は世界稀に見る非文明人であるのだ▲見玉へ、現在に於て在半島の內地人は其數約二十萬だ、而して此二十萬に向かつて供給さるる新聞紙の數が半島及び內地發行の分を合せて十萬餘だ▲サア土着朝鮮人側は如何と云ふに彼等の數は約一千二百萬だ、一千二百萬と云へば半島內地人數の六十倍であるのだ、而るに彼等間に散布される新聞紙の數は僅かに五千枚餘であるのだ▲五千枚の新聞紙を一千二百萬に割れば四千百六十人に付き一枚しか渡らぬのであるのだ、玆に到つて朝鮮人と文明、其距離の遠き太陽と地球ほどであるのだ▲朝鮮人と云へば此頃李王殿下の東上說が頻りにあるが、まだ何とか彼とか爽切らぬ樣だ、今日となつては行くも可、行かざるも亦可、つまりドッチでも良いことであるのだ、ソレを物々しく騷ぐのは主に老居輩が拔け切らぬからだ▲李王殿下と云へば殿下の此頃は元氣旺盛にましまして決して昔日の比に非ず、妃殿下との御語らいも中々に深く其內チには王兒の御誕生もあるべしとの事だ、コは聞くだに結構の事で李王家萬々歲と云ふべしであるのだ▲唯だ世の中は思ふ樣に行かぬもので、一方李王殿下が益々元氣旺盛であるのにドウシタ譯か一般朝鮮人の元氣は日々衰へ行く樣だ、思ふに斯は何人の罪でもあるまいが、爲政者としては冷視すべからざる事だ▲今日は矢鱈に朝鮮人の事を書く樣だが今度閔泳綺が中樞院顧問になつたのは同人が近く東拓副總裁を止められる下地だソウだ、序に理事の韓相龍も用が無いからとて近々止められるソウだ▲我民會議員中國家とか本員とか乃至違良とかの語を搾りに振廻はすものがあるソウだが惡い洒落だ、物は考へて云はぬと傍聽者が笑ふ。

▲**公人私人**▼

▲鹽野鉞太郎(海州地方裁判所長)不知火館に投宿

▲靑木幹造(海州地方裁判所檢事正)同

▲井上國之助(海州監獄典獄)同上

▲**京龍兩驛の貨客**▼

▲南大門驛乘降客 七日の分 乘車客 七六二 下車客 七八八 乘車賃金 一一〇九、六三

▲龍山驛乘降客 七日の分 乘車客 一八〇 下車客 二〇六 乘車賃金 三五〇、七四

▲南大門驛貨物 七日の分 發送 二一六噸 到着 二九五噸

▲群山丸 九日大阪より入港

▲音羽丸 同 橫濱より入港

▲群山丸 同 大阪へ向出港

▲音羽丸 同 橫濱へ向出港

月止不明▲五月止十六圓▲後場三月寄十五圓八十三錢▲止七十九錢▲四月寄八十六錢▲止八十三錢▲五月寄十六圓

●八日前場三月寄十五圓八十一錢▲止九十一錢▲止八十九錢

●七日後場三月寄十一圓九十錢▲四月七十八錢▲止八十錢▲五月寄十一圓九十一錢▲止七十五錢▲止八十錢▲最高八十錢▲最低十一圓九十六錢▲最高十二圓一錢▲最低十一圓▲五月寄十一圓九十六錢▲止十二圓

●山縣五十雄氏東上 ソウルプレス社長山縣五十雄氏は兩三日の內往復三

제645호 1911. 3. 9.

天照皇太神宮

霧深く立ちこめたる八日の朝七時、僕は南山に登攀れたる、天照皇太神宮の祀前に額づき立つて神恩を追ひ遣る、鳥獣人語を絶つて只粛々たる松露の下、湧き出づる水の、淼として水暗く鎮せる御池に注ぐを耳にて、再び厳然として襟を正して大御社を仰ぎ奉る。申すも畏きことながら大靈鎭まり在す宮居のさながらに祀るものもなく荒れ廢れたる野の宮の夫れに勝したる御有様、今更らながら仰ぎたる眼の涙に霑む。

聞く社の神官三宅某は痛く之れを憂ひて貯へたる金、他に貸し與へ其の利子を積みて神宮の造營の意ありと、神に仕へ他を專がれに在る人の心掛けは實に斯くこそあれかし、此の一事以て我意を慰むべし、三拜して祠前を退る。

▲稲荷大明神と見れば末社稲荷宮の祠前、香煙線の如く燭光耿々として若女の願事せるを見る、運れは少時にして下參の途に就く

▲天滿宮 左折して天滿宮の祠前に立ちて俯瞰すれば、霧の海、南山町邊り搖籃に泛として霧の海、南山町邊り遙かに物呼び商ふ聲夢の如く、近く總督官舎增築工事に從事せる工匠達の鑿の音の丁々として相人の山に木を樵る斧の音に似通ふ、太古の如き清趣に醉ふ、僕の背後を掠めて南山町方面に疾走し去る。

二十二の婦人と二十七八の件頭らしき人と前後して此の三社に詣づるに逢ふ。日參らしと見し。時や遲たるいくそばく、さし昇り立ちめし霧も今や霽れ行きて總督邸

四人組强盗就縛 ▽北部署の大活動

七日午後八時半頃北部照洞五十三統一戸李容浩（五二）方へ白帽を被りたる四人組の强盗押入り一人は門前に見張を為し、内一人は長さ一尺五寸餘の小刀を閃かし現金十餘圓物品數點を强奪し逃走したる旨の急報に接し北部署に於ては彼の安辯署長以下時を移さず非常線を張り厳重に手配し來署員全部晝夜警戒より日亥角保安課長出張して捜査を指揮し憲兵三十餘人をも援兵せしめ吉本巡査部長非常線を警戒巡邏し非常線內より何者か通る氏名其他身体檢査をなるより嚴密に取調べ强奪したる贓物の所在判明せしが續いて八日午前六時迄に共犯者全部逮捕したり犯人等の家宅には上等綿品數包數個あり犯人は北部洞二十九統十二戸無職、澄商坊豆錫洞十二統巡査官韓圭復方下人金統二戸金碩桓方下八先坊諫洞二十九統四警烈（二七）にて同時に逮捕せり因に北部警察にて八日午前十時該犯人逮捕に對し特に功勞ありし吉武巡査秀、崔巡査の三名に賞與したりと

祝賀式と學校生徒

十日の陸軍紀念祝賀式には京龍日鮮各學校生徒は旅行列を為して參列すべきは既報の如くなるが其次第順序を聞くに左の如し

一 當日午前十時（道の遠近により）八各學校及幼稚園代表者は職員引率の下に龍山軍司令部前の練兵場に向け出發し所定の位置に進てたるを以て（幼稚園生）は龍山小學校を途中休憩所と定め携帯の辨當を喫するも差支なし

一 正午十一時五分前二一同式場に參着し豫定の位置に整列する事

一 軍司令官臨場登壇あり一同職員及び生徒は中學校体操教官の號令の下に脱帽敬禮をなす事

一 君が代唱歌合唱（二回）

一 中學校長は全職員生徒を代表して軍司令官閣下に對し祝辭を呈する事

一 軍司令官閣下の訓示（此間脱帽して敬意を表すること）

一 中學校々長の發聲にて大日本帝國陸軍萬歳を三唱する事

此時小學校及普通學校生徒幼稚園兒童は各自携帯の國旗を揭揚する事

●强奪せし金を强奪

京城花芝坊利太院統戸不詳金相鎬方同居當時南大門內貞洞酒商申龍益方傭人金昌天事金相順（二八）は去る四十二年十二月十一日午後八時頃其當時利太院に居住せし雜貨商原田喜太郎が五十五圓餘を皮製財布に入れ懐中にし居りしを强奪逃亡せしに同坊同院六統二戸無職金麟煥（二三）なる者之を聞知し同月十三日午後一時頃張相集、金成玉、朴貫東の三名と共謀の上金相順を村外れの一小屋に甘言を以て引き出し毆打恐喝の上强奪せし金員を更らに奪取せし事發覺金相順は强盗金麟煥は毆打恐喝取財として龍山憲兵隊に引致檢事局に送らる

何時結婚せしか

彼の人達は何時結婚せられたるか、之れを知る一の興味あるを覺へん、況んや彼の君達は何時如何にして結婚せしかを知る興更らに一層深きを覺ふべし、本社は、在京城知名の士女の夫れに就いて得るに從ふて揭記すべし、或る意味に於ける仲偽者は冷罵に渉らざる程の

投書を歡迎す

何時結婚せしか

●實業視察團寄附

國民新聞及び京城日報兩社の主催に因つて近日來るべき實業視察團は其團員悉く相當の資格を有する紳士のみなるが聞くところに因れば同團は其通過して歡迎を受くべき各民團の教育事業に向かつて金一千圓づつを而して京城民團には特に金三千圓を寄附することに內定し居れりと云ふ

●東拓參事の結婚

東洋拓殖會社參事馬屋原仙一氏（三二）は貴族院議員馬屋原二郎氏の嗣子で早大政治科出身の俊才である相なが此度東京外國語學校長村上直次郎氏の媒介で六日牛込原町の自邸に於て久留島子爵の長女園子（三三）と華燭の典を擧げられた新婦は學習院出身の才媛である

●阿片自殺

北部城外當牛坊新衙洞三十三統一戸林德根（三二）は生活に窮し阿片を吸飲自殺せりと

●馬鹿酒に呑まる

原籍廣島縣豐田郡瀨戸田町字瀨戸田三六五番地當時不詳岡本武夫（三六）は七日午後七時半頃飲酒酩酊して仁川新町二丁目より京城通りを通過したる際泥濘の爲め足駄を汚したるを以て宮町二丁目の共用水道栓に至り足を洗はんとせし折柄水汲に來りし同町五番地下宿業石川イセ方雇鮮人金德成（二二）が栓を買き居たる水桶に泥足を突込しより金は其の不法を詰りたるを立腹して此の小癪奴がと鐵擧を金の頭部に目舞しより金は派出所に訴出しに武夫は又々派出所內にて自分の下駄を脱ぎ金の左頭部を亂打し打撲擦過傷を負はせ亂暴を極めしより武夫は本署に引致せられたり

●仁川宮町のボヤ

七日午後十一時頃仁川宮町二丁目深見酒場裏の飲食店中元や事方裏二疊座敷隅より突然發火せしより同人發見早速戸外に出で火事よと呼ばはりたれば隣家の料理店宮城野事千葉犬次郎現場に馳付け外部より腰張板等を打破り消防に盡し一方やゝ屋內に於ては室內より水を打掛けたれば直樣大事に至らす鎮火せしが發火原因不明にして損害等は僅少なりと

●敷島樓の新妓

今度仁川敷島遊廓第二敷島樓にては生れ在所は愛知縣名古屋市西區南押切字上十二島七十二番地平民戸主大谷たま（三三）の至極熟練せる老妓を雇入れ嬉野と名乘今晩より粋樣の御贔屓を伺ふ由

●落し主はだれ

一昨七日午後四時頃仁川京町魚市場前にて一錢銅貨五十枚拾得其筋に屆出たり

●仁川捕鼠買上

七日百七十九頭にして金五圓三十七錢なり

●仁川歌舞伎座

片岡鶴之助一座は相變らず好評の裡に前夜の續き第四回目の野狐三次を出演すと云ふ

公判だより

●惡周旋屋 惡周旋屋櫻井黨が幾多の婦女を誘惑して醜婦に仕込せ或は住替を教唆し詐欺横領等の罪惡は遂に其筋の檢擧する處となり檢事局に送られ之と同時に共犯者として佐賀縣人當時本町一丁目裏通り同周旋業者宮原增太郎も豫審終決公判に付せられしが該事件は八日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長野田檢事の係りにて公判開廷せられ被告宮原の辯護人として木尾辯護士出廷したり

●米駒事件 新町遊廓玉家娼妓米駒を惨殺せんとしたる島田喜一の爆發物取締規則違犯の第二審公判は來る十三日京城控訴院刑事部法廷に於て補裁判長深澤檢事の係りにて被告辯護人として大久保辯護士出廷公判開廷ある可しと

●橫領事件 既報衛藤進（二七）の橫領事件は十日公判期日なりしが辯護人木尾大久保高橋三辯護士の都合により延期せられたりと

●浪花館 浪花節春園一座八九兩日之出物は

天龍川仇討（京山愛幸）後藤小金吾（吉川數夫）伊賀の水月（喜樂亭八赤）穂義士銘々傳（日本軒雲龍）令嬢の爭因果の裁判二席（吉田春園）

京城より釜山へ

釜山にて　秀峯

霞める南大門を仰ひで停車場に入り午前九時釜山行列車に身を投じて京城を去つた烟霞の固僻は漂然として來り漂然として去らしめた平々凡々無味乾燥唯、木覓山巓、春風に梳けづりて、俳味一掬の快を貪ぼり得ざりしを惜むのみ。

予を送れる友は一人なり、友は云ふ、

明石將軍 乘車して東上すと、見れば佩劍戛々の音高き武人、制服厳めしき官人、數多車外に立てり、時めく人、時めかざる予、車室を異にして併かも二百八十一哩の**行程を同**ふす、予を送れる友は一人、他の十人否な百人の權や眞摯である、勢に阿り利欲に額づく靈の虛榮より出づる虛禮と均しからず、眞摯の友一人あり、あゝ、血をも惜まじ、涙も別たん、權勢と利欲、之れ予の敵である、三等室裡、身を横たふる席なしと雖ども、遠隔の地、尚は一人の友を有すると思へば、欣然として知己を誇り快戯自から禁せざるものがある、

列車は轆轆として郊野を進む、數多の巡査は予が附近の席を占めて、次が憲兵の夫婦である次で職人らしき夫婦が居る、周圍は頗る雜風景である、次第に晴れ渡る朝日は、くつきりと室內を照らして、輕く舞ひ上る塵をも鮮かに眼眸に入れしめる、

巡査は割前勘定 聲高々と始める、一人が五十錢と云ひ、一人は四十錢、いや四十五錢であると、終に四十錢と相場が立つた、胸勘定が中々に六か敷い、多分車賃でがなあらう興が醒めた、

憲兵の妻 は、唯無言に信玄袋に肱を持たせて、顔を横に俯した、而して其の視線が夫の顔と予の顔とを等分に見分くるものゝやうだ、彼れは何を想ふのであらうと、予が好奇心よりの視線は、はたと兩々衝突す、一瞬の羞恥は、彼れの眼を外らさしめる

見る、外らす、外らす見る、幾回か繰り返へされて、予は終に便所に立つて、彼れは顔を圓轉した、職人らしき無骨漢と其妻、否な携ふる

丸髷の女、特に携ふると云ふは男に反對の仇な女であるからである、蜜柑や、パン、話す喰ふ、靴て座板を外して横に渡し、小さく横臥して斜めに男の顔を仰ぐ、赤き手柄に赤き襦袢、窮屈らしく膝を動かす刹那、腥もあらはに褄は亂れる、艶だ、艶だ、**頗る艶だ**

今日の運勢

●三月九日 舊二月九日 三碧 戊寅 佛滅 とづ 三りんぼ

●一白 平靜の日 觀察 豫約 計畫 相談 婚談 起工 起業に尤も吉 旅行 移轉凶 △二黑 不通 塞の日 新事大事に不可 負傷 遺失防ぐべし 旅行 起業 開店 婚談 轉宅凶 △三碧 談判 交渉 掛合ひ 婚約事捗取り難し 移轉 入學 門 起業 開店 婚談 旅行凶 遺失 盜難注意の事 △四綠 平凡の日 萬支障なし 婚談 連署 結社 協同組合の事に好良 △五黃 建築 勤土 常業の外手控へたるべし 紛爭不和葛藤防ぐべし △六白 業務上衝突違錯ある日なり 新事 旅行 轉住凶 遺失注意の事 △七赤 人の意見に動かされ易し 農業 建築 常務の外手控へ若くは見合せの事 △八白 徒勞多し 金談 貸借 訴訟 談判 中裁 婚談 相談 委囑 請願に忌む 新事 旅行見合せの事 △九紫 紛爭不和葛藤を戒しむ 他は進んで吉（本町五丁目三一館判斷）

廣告

제645호 1911. 3. 9.

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 陸海軍御用達 官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九三九 振替貯金（夕）

●かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目藥あり
大學目藥 商標
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●風目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
發行所 大阪市北濱一丁目 參天堂藥房 ヘブリン丸 本舗
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番

ハカリ印 かぜねつの最良藥 ヘブリン丸
各藥店にあり●定價 五錢●十錢●三十錢
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番

▲月經をつうおす●子宮病を全治す●
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす。
二十世紀之新劑 月經不順 最良新藥 通月丸
一日八錢半 一週分廿五錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば浄血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋通三丁目 丹平商會支店
賣捌 東京市内其他各店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番

旅館 京城ホテル 京城南山町三丁目 電話 長二三番 四九二番
日本室和食 特等（一圓五十錢／三圓五十錢） 一等（二圓五十錢／一圓五十錢） 二等（八十錢／一圓六十錢） 三等（五十錢／一圓五十錢）

入院隨意 六〇六號注射の需に應ず
仁川病院
院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京齒科大學 齒科專攷 菊池徹
藥劑士 常盤光雄
電話十六番

謹告
拜啓 各位益々御清榮之段奉大賀候 陳者御蔭樣を以て弊樓も日増繁榮に趣き茲に謹て御禮申上候 尚は倍舊之御愛顧御引立を蒙り度偏に奉懇願候
扨て追々花の時節とも相成御宴會等の好季節に入り候に就ては至極適當なる大廣間を増築致し設備萬端相整へ候に付會費の多少に不拘出來得る限り御便宜の御相談に可應候御料理等も殊に精撰して御調進致し極めて丁寧懇切を旨とし御優待可申上候間何卒陸續御用命を賜はり度偏に奉願上候
追て世間の風評に據れば會費の少額なる御宴會等は弊樓に御申込兼らるゝ樣の御遠慮有之やに聞及候へ共決して右樣の事更に無之候間斯る御懸念なく何卒御來遊被成下度若又御待遇等に不都合有之候節は御遠慮なく御叱責被成下度此段謹て御願申上候
月 日
京城南山町四丁目 花月樓主 敬白 電話（五七番／一一六四番）

家傳 名灸（とや） 特に 胃腸病 かつけ 專門
●うちみ くじき はねつき
毎日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戸 荒川マッサージ院

酒精アルコール 直輸入元 仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ） 坂倉支店

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酢酒 手ヨリ白米 和洋ローソク 上白シメ油 ㊍醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨卸問屋 京城本町六丁目 西崎嘉七本店 電話二百十番 電略（ニカ）又ニ 振替貯金口座京城七番

キナエン丸 商標 えん熱おこりマラリヤ熱風邪つの良劑
一包入五錢 五包入廿錢 十一包入四十錢 十六包入卅錢 廿八包入五十錢
本舖 大阪四ツ橋西南詰 本林丁子堂（ムキナエン丸は全國到る處の藥店に有之御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ）
京城代理店 京城南大門通三丁目 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番 新井藥房

義齒術一般 京城明治町一丁目（森、村質店隣） 榊齒術所 電話は（六六九番）へ

最上醬油 ㊍ 釀造元 仁川港萬石町 高杉醬油釀造場 電話七六五番

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良 高等牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）
龍山本町三丁目 龍山販賣所（電話二〇二番）

清正 正宗 醸造元 上酒 小賣壹升に付三十錢 卸賣は特別割引可仕候
致則 元
清酒 味淋 燒酎 醸造元 並に日用食料品雜貨類
京城本町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

銀行一般業務精々御便利に取扱申候
資本金 三百萬圓 積立金及繰越 九十九萬五千圓
株式會社 十八銀行 京城支店 京城南大門通（電話四二〇）
本店 長崎市榮町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、群山、元山、馬山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
朝鮮其他日本朝鮮樞要地及露領浦鹽に爲替取引先有り
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

朝鮮名産 鶴ノ箸（ツルノハシ）
〇鶴の骨細工種々 〇鶴の羽細工種々 〇朝鮮土産品種々
製造發賣元 京城本町三丁目 電話二五〇 振替朝鮮四八 海市商會
特約發賣元 京城本町四丁目（電話九五六） 日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目（電話二一〇） 西崎本店

來れり 寫眞撮影の時季
寫眞器械 幻燈器械 藥品材料一切 旅行用娯樂用營業用
直輸入 京城本町四丁目 織居寫眞機部 電話二六二番 振替貯金二三一番

最新建築材料
マルソイド瓦 P&Bレディー瓦 P&B建築用紙 P&Bフエルト
マルソイドは屋根材料中の覇王也
▲金屬打出天井板及中心飾 ▲英佛製壁紙及硝子紙 ▲リノリヤム及リーオルクロス ▲石綿セメント瓦 ▲特許自働窓枠止 ▲建築用金物類
東洋一手販賣 東京 京城 藤原京城支店 京城永樂町二丁目（赤門前） 電話一八九番

家庭用 美術大鑵入（定價廿五錢）
ライオン歯磨（はみがき）
體裁優美にして正味頗る多量家庭用として最も御德用なり
發賣元 東京・大阪・名古屋 小林富次郎
代理店 京城本町三丁目 森久商店 京城南大門通三丁目 新井藥房

瓦斯コークス販賣 京城黃金町高等演藝館隣 酒井組 電話一一四九番

三月中 滊船出帆廣告 キ
海州行 天草丸 十日 十四日 十八日 廿二日 廿六日 三十日
安來丸 十二日 十六日 廿日 廿四日 廿八日
鎭南浦 富里浦 忠清行 三省丸 十四日 十六日 廿日 廿二日 廿八日
千葉丸 十日 十二日 十八日 廿四日 廿六日 三十日
羣島行 千葉丸 十六日 二十一日 三省丸 十一日 廿六日
合資會社 仁川本町四丁目 秋田商會船舶部